

2021年（令和3年）3月31日  
松風台自治会 まちづくり運営委員会



## まちづくり だより No.19

最近、電車に乗ってない！

まちづくり運営委員会 副委員長 行正龍昭

昨年は新型コロナで私達の生活が一変しました。

高齢者の重症化率は若い人に比べて四十倍も高いと言われていたため、生活の行動範囲が極端に狭まり、人混みの多い茅ヶ崎駅近くに行くことさえ躊躇しています。

月一回のまちづくり定例会は自粛要請により二度にわたりストップしました。

このように日本全体が不活発になってきているためか松風台での新築件数（軒数）も激減しました。おかげで定例会では松風台全体のまちづくりについての議論ができた一年でした。

一般的に「まちづくり」の活動とは街を住みやすくしていくための活動として家屋や公園、道路などのハードと、近隣とのコミュニティ、街のイベント、行事などを対象とするソフトの両面をあわせて持っているものとされています。

まちづくり運営委員会では、新築される家屋を住民協定の基準で屋根の高さ、隣家との距離などを確認することに加え、住民の皆さんへの説明会（近隣説明会）を実施しています。

新たな入居者と近隣住民とのおつきあいを深めていくきっかけになればと思っています。

このようにまちづくり運営委員会のこれまでの活動は律儀に運営していると言えます。新型コロナが終息した際には、これまでまちづくり活動の中で生まれた小さなコミュニティから街全体の活動に広がっていくことを期待しています。



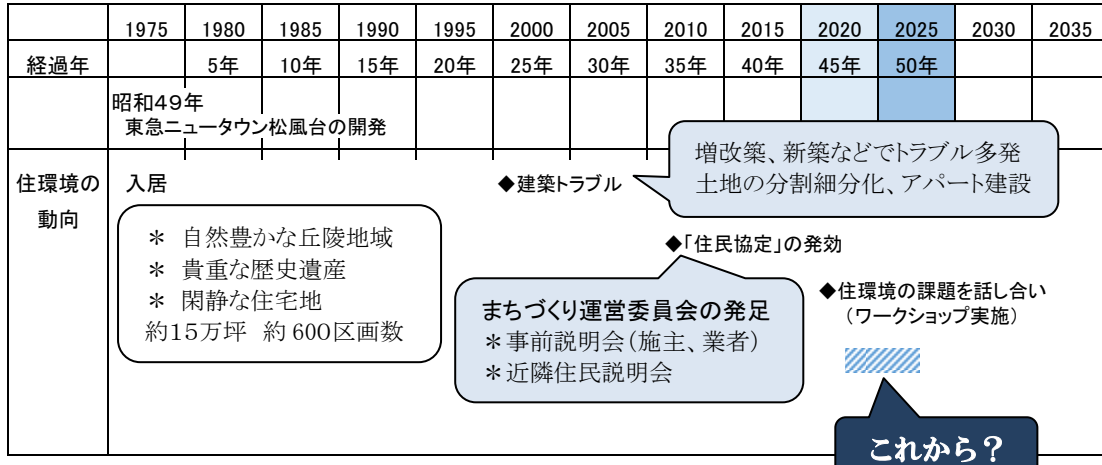
茅ヶ崎 松風台



～家を建てる時には まちづくり運営委員会 に連絡を～  
受付携帯電話 090-6928-3830

# 松風台自治会 まちづくり運営委員会のこれから

## これまでの 委員会活動

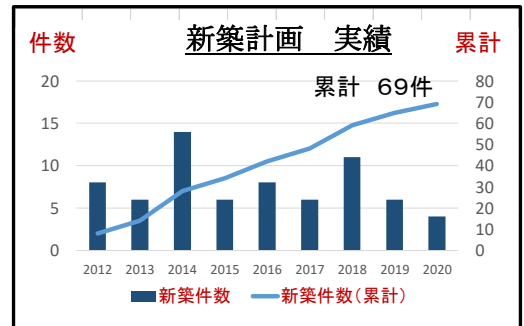


松風台の住民協定は2012年7月制定され来年2022年には10年を経過します。  
これからのまちづくり運営委員会を考えてみます。

### ◇ 「まちづくり」運営委員会の現状は・・・

新築計画にあたって建物高さ、隣家との距離など  
ご近所の相互理解が深まるように対応しています。

- ・事前相談会や近隣説明会は定着している。
- ・住環境維持向上の活動は継続性が課題。
- ・緑化活動をめざすべきとの意見も。



### ◇ 「まちづくり」にはハードとソフトの両面が・・・

家屋や公園、道路などハードへの関心と共に近隣とのおつきあいなどソフトの構築も大切な活動です。

- ・近隣説明会はコミュニティを広げていく活動でもあり貴重な仕組みとなっている。



ワークショップ 2018年12月  
2019年2月 実施

### ◇ 松風台の住環境について皆さんの想いは如何でしょうか・・・

暮らしやすい街として共有されています。  
また、自然環境も残したいとして緑化活動にも期待されています。

(ワークショップでの意見から)

- ・住みよい街、景観のよい街、洗練された家屋、広い道路、季節感のある自然など皆で培ってきた財産を引き継ぎたい。
- ・家屋の老朽化や樹木の繁殖の問題が起きていてどう解決するか。

今回は **これまでの** 委員会活動をまとめました。

今回は **これからの** 委員会活動を考えてみました。

**住環境への活動は  
継続したい**

業者説明会や近隣説明会など続けるべき  
地域コミュニティを育む

**住民協定では  
「可能な限り緑化するものとする」  
とあります**

緑化は大切  
条文にもう少し具体的な記述が  
必要ではないでしょうか

**家屋の寿命からの建替事例や  
世代交代での新築事例が多くなる**

空き家や転売が  
増加するのではないかと



**これからの松風台の住環境を  
どうしていくのか**

高齢化、世代交代が現実化  
活動をどう進めるか

**緑化活動への対応を  
あらためて検討**

緑化をどう考えるか、皆さんの意識は  
そして具体的にどう動くか  
など

**これからの 委員会活動**

- ◆ **住環境を維持する活動を継続します** (住民協定遵守)  
新築に伴う近隣間のトラブル防止や土地の乱開発防止など  
住民協定の原点の活動です。

**あらためて ◆ 緑化を進めていきます**

松風台の財産をみんなで守っていききたいと思います。

具体的には・・・緑豊かな景観のある街として培ってきた住環境を維持するために  
住民協定にある「緑化」の動きをどのように進めていくか検討が必要です。  
例えば、事前記入表に記載の「建物高さ8.00m以下」「隣地との距離1.00m以上」が  
共感されたように、「**緑化率 何%**」や「**樹木 何本**」のような数値目標を決めるのか、  
または「可能な限り**緑化**する。」のままでいいのかなど考えてみます。

ご意見をお寄せください。



運営委員会では**松風台**の将来のまちづくりも話し合っています。  
今後の**松風台**を担う皆さん方の意見も反映してもらえるとありがたいです。  
子育て中の方もどうぞ。

## 話題

まちづくり運営委員会は年に一度、まちづくりアドバイザー高橋武俊氏と茅ヶ崎市景観みどり課のご協力のもと、住民協定を施行している他の市の方々と共に研修会を開催しています。

(今年度は2020年12月11日実施)

### 自治会の原点と可能性 (高橋氏の講演要約)

#### ★ 自治会は何のためにあるのか

自治会は行政サービスで抜けたところ、自分たちの必要なところを補っているが自治会が簡素化、削減化のために何もやらないと長期的には課題は解決されない。「自治会は何のためにあるのか」、となりかねない。

#### ★ 自治会にはアクティブな活動が期待される

ほっとする、やすらぎのある、そんな日常の暮らしを支えていく街づくりには住民の協力が不可欠であり情報発信や協力体制をまとめるために自治会の存在は大きい。

### 「自治会とは」との問いかけに思うこと

コロナ禍の中で自治会活動はゴミと回覧版以外は自粛。祭りやイベントも中止。それでも毎日の暮らしは平穏。「自治会は何のためにあるのか」についてどう考えるか。



「自治会」は難しい、そして一言ではよく説明できません。

日常の暮らしの中で子供たちが元気よく遊ぶ姿を見かけたり高齢の人からなにげなく声がかけてくる。そしてコロナ禍でも安心のための防災訓練は怠らないなど、なにげないけどしっかりとした景色がここにはある。

住みつづきたい街には落ち着きと安心感が不可欠と思います。

自治会は私たちの地域の人たちの集まりで、みんなが仲間。自治会は何かあったときには守ってくれる、安心感のあるもの、**ふわっとしたもの**であっていいのではという感じです。

そんな存在であって欲しいと考えています。

#### ～編集後記～

春のあたたかさに誘われて、心はずむ季節、緑豊かな松風台は遠くに行かなくても四季の移ろいを感じることができます。

「住まいのまちなみ賞」をいただいた美しい松風台の景観を維持できるように私たちまちづくり運営委員は住民協定への対応や定例会・研修会などこれまでと変わることなく活動してきました。

来年度は住民協定発効から10年目を迎えることになり、これまでの実績を検証する時期であるとの意見もあります。

住みよいまちづくりのために皆さんも一緒に考えていただきたいと思います。

富岡 真弓



発行責任者

松風台まちづくり運営委員会  
副委員長 行正龍昭